

【自給自足】

すがすがしい朝が続いていると思いますが、皆様どの様にお過ごしでしょうか。

4月の初め頃、弊社の溝口商店や袋井工場と袋井 RPF 工場の事が紹介された静岡新聞に取り上げられた一面について少しだけ語らせてください。 稲作時に行う中干期間を多くとりメタンガスの抑制をはかり米収穫後に出るもみ殻を弊社で取り扱う RPF の原料として使用し石炭の代替品として生まれ変わり化石燃料使用を抑制する。ここではメタンガス二酸化炭素の約 20 倍の温室効果ガスを抑制しています。同時に RPF を使用する事で石炭である化石燃料の使用を抑える役割をしています。RPF を成形する際に使用する有線電動重機を用いる事で二酸化炭素排出量を大きく削減し且つ軽油すなわち化石燃料を使わない事で Co2 排出削減に大きく貢献しています。袋井工場並びに袋井 RPF 工場周辺の自家消費型ソーラー発電により工場と有線電動重機を稼働させることにより、まさに自給自足ともいうべきことが実現できました。

今回の記事の中で私が大きく関わった事は事業部としてと、わたし個人的な夢でもあった「電動重機」ですね。思い起こせば5～6年前、環境新聞に掲載されていたコマツのミニコンボ、バッテリーで稼働し Co2 を出さない重機とうたい文句で書かれていた気がします。その新聞を眺めながら即、コマツ重機担当者へ電話をかけこんなにいい物が有るのに何故今の今まで言わないのかと問い詰めた記憶が有ります。なぜなら粉塵が少なく、騒音もすくない、現状の悩みでもあるアドブルーの問題これが修理代はかかるは重機や仕事が止まるは、交換部品は高いは従業員にも私にもストレスだったことが一気に解消すると思ったからです。その時の担当者さんは大きな重機を動かすまでの技術には至っていないとの回答でした、そこから数年がたちコマツさんからコンマ 45 までなら有線電動重機を発表できますと聞き導入を計画しましたね、弊社で使用した場合のデータ軽油、稼働時間、メンテナンス回数、交換する消耗品、原動機やマフラー燃焼に関するコストを年間分調べ、それを使用電力に置き換えどのタイミングまで稼働時間を追えばペイに出来るかなどを何度かダメ出しをいただきながらもコマツの担当者さんと夜な夜な電話で打ち合わせをしてから会社に企画書をだし発注してから待つ事約2年位で設置、長い道のりでした

太陽光発電・有線電動重機・水稻事業・固形燃料製造（RPF）温室効果ガス抑制します。

下記業務内容共々

*業務用冷蔵庫・業務用エアコン類のフロン回収及び機器の処理

*ダンボール・雑誌・新聞など大量に出る店舗・事業所様へ古紙無料回収

*企業・ご家庭の悩みごと・・・建屋内、事務所内をスッキリ丸ごと、お片付けします！

産業廃棄物収集運搬/中間処理・一般廃棄物収集運搬・建物解体・一般土木・機密書類リサイクル・医療系廃棄物・グリストラップ・RPF 製造・再生碎石販売・建設汚泥リサイクル・遺品整理・建物清掃管理など、

(株)リサイクルクリーンへお気軽にご相談くださいますよう、社員一同、心よりお待ちしております。